

「持続可能な社会の創り手」の育成を目指して

R4新ひだか町立静内中学校

静内中学校が育成を目指す資質・能力【6つの重点】

生きて働く「知識・技能」の習得

1 各教科の学習内容を身に付けている

2 各教科に応じた学び方を身に付けている

未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成

3 自ら課題を見つけ、深く考え、解決できる

4 相手や状況を考えて発言・行動ができる

学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

5 自らの学びをコントロールしようとしている

6 苦手なことにも粘り強く取り組もうとしている

予測困難な社会を生き抜くためには、
これらをバランスよく身に付ける必要があります

静内中学校では、予測困難な社会を生き抜くために必要な資質・能力を、上記のように6つに重点化してまとめさせていただいております。本校で学んだ生徒が、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることできるように、ICT 機器を最大限活用しながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的かつ効果的に組み合わせ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、教育活動を展開していきます。

また、新型コロナウイルス感染症のまん延が継続している中ではありますが、学校行事や生徒会、部活動などは、中学生の成長に大きく寄与するものと認識し、必要な感染対策を行いながら、最大限実施していきたいと考えていますので、ご理解いただきたく存じます。